

これからバイオガスパラント建設を計画する地域においては、発電した電力を地域で自家消費していくシステムの検討が必要となっており。このような中、先般、北オホーツク地域循

重要政策②

医療・福祉によるまちづくり

環共生圏構築協議会が設立され、本町も協議会の構成員となっておりますので、今後、環境対策も考えながら、調査に取り組んでまいります。

◎雄武町国民健康保険病院は、常勤医師の退職もあり、現在は常勤である院長1名のほか、非常勤医師を確保し診療をおこなっておりですが、外来患者数は年々減少傾向にあり、経営においても厳しい状況が続いております。医師不足は、本町だけではなく全国的な課題でもあり、常勤医師の確保は容易なことではありませんが、雄武町国民健康保険病院は、地域医療を推進する上で重要な機関であることから、医療体制の強化に向け、内科をはじめとする常勤医師確保の取り組みについて、早急に行動力を持って進め、町民が安心して住み続けることのできるまちづくりに努めてまいります。

◎都市部の医師及び医大生を招き、雄武町の良さなどを知っていただくなど、医師確保に積極的に取り組んでまいります。

で安心して暮らし続けられるよう、高齢者専用住宅など、定住施策として必要な居住サービスを検討してまいります。

◎合同納骨塚の整備については、昨年実施した視察調査や本年実施

重要政策③

教育によるまちづくり

◎近隣の医療機関では担えない先進的医療が必要な町民が、都市部の大病院や総合病院での先進的な医療を受けることが可能となるような交通施策の創設に向け、調査・研究を進めてまいります。



↑雄武町国民健康保険病院

◎本町は、高齢化率が3割を超え、今後さらに進むと予測されております。高齢になっても地域

◎「人づくりはまちづくり」といわれるように、学校教育はもとより、心の教育も同時に進めていかなければならないことであり、保育所・小・中・高等学校も含めて、取り組みについて協議を進めてまいります。

◎小・中学校における学力向上を推進するとともに、道立高校である雄武高等学校においても、大学・専門学校への進学なども見据え、一体となって魅力ある高校づくりに努めてまいります。

◎学力向上の取組みとしては、小・中・高等学校においてサマースクールを実施し、家庭との連携を図りながら、子ども達が将来の希望や目的意識を持てるような取組みを推進してまいります。

◎魅力ある高校づくりの一環として、雄武高等学校を卒業し、大学等の高等教育機関へ進学する

した町民アンケート並びに町内宗教法人への意向調査の結果を踏まえつつ、令和2年度に建立したいと考えており、併せて利用条件等の検討も進めてまいります。

生徒に助成や貸付けを行う制度を創設してまいります。

◎海外の都市と姉妹提携を結び、小・中・高校生を対象にグローバルな人材育成を検討してまいります。

◎老朽化が進行しているスポーツセンターについては、トレーニングルームの充実と子どもから高齢者までが利用できる施設づくりについて、町の財政状況を見ながら検討を進め、町民のスポーツ振興と健康増進を推進してまいります。

◎友好都市である佐賀県武雄市と栃木県益子町とは、児童交流・派遣による異文化の体験や人々の交流を通じて、教育的、文化的効果を得ることができ、人づくりにおける大きな契機になることと捉え、今後も取組みを推進してまいります。

重要政策④

観光によるまちづくり

◎紋別空港の利用拡大を図るとともに、持続可能な雄武の観光を考えたとき、ホテル日の出岬を核とした体験・滞在型観光を実現し、交流人口の増加を図る必要があることから、雄武町観光協会と連携しながら、各産業団体等との協議を進めてまいります。

◎観光マイスターを活用した観光振興の人づくり・仕組みづくりを進めつつ、オホーツク雄武町の自然を背景に、本物の食と自然の魅力を堪能できる観光の積極的な情報発信と観光資源の発掘・魅力化・ネットワーキ化を図る取組みを進めてまいります。

◎本町の核となる日の出岬エリアにおいて、ホテル日の出岬周辺の環境整備を進めるとともに、旧オホーツク日の出岬センターの再利

用も考えた日の出岬全体の整備計画を策定してまいります。

◎本町に観光客呼び込み、滞在型観光とするためには、移動手段を確保することが最も重要であることから、ホテル日の出岬にレンタカーやレンタサイクルなどを配置することも検討してまいります。



↑ホテル日の出岬

と実感できるまちづくりの推進を図ってまいります。

重要政策⑥

人口減少対策によるまちづくり

◎地域産業・医療・福祉・教育・観光等の政策を進めていくためには、基幹産業の発展なくしては成し得ないものであり、基幹産業を中心とした各政策を町民との協働により実施し、人口減少対策を進めてまいります。

◎人口減少が進むと生産・消費など、地域にも大きな影響を与え、危機的状況となることから、スピード感を持って実効性のある取組みを進めてまいります。

づくりの大きな契機になることもあるため、今後も取組みを進めてまいります。

◎町民に寄り添い、町民の声を聴き、町民の目線に立ち、将来の雄武像を町民とともに考え、意見等を伺いながら、町政に反映させてまいります。

こうした情勢のもとではありますが、私は絶えず可能性を信じ、健全で効果的な町政運営にも最善の努力を尽くし、町民との真の協働と町政の透明性をしっかりと保ち、これからの町政を着実に進め、住んでいる町民一人ひとりがお互いに誇りを持ち、自他共栄となる共通の利益を持つるように、職員とともに、「郷土愛を育み未来に夢と希望の持てるまちづくり」の実現に粉骨砕身してまいります。

最後に、議員各位をはじめ、町民の皆様の深いご理解とご協力を心よりお願い申し上げます、私の所信表明とさせていただきます。

令和元年11月20日

雄武町長 石井 友藏

町民と町の協働によるまちづくり

重要政策⑤

◎自助・共助・公助の原則に基づき、医療・福祉・教育・防災等の推進を図り、将来に向かって安全・

安心して住める、住んで良かったと思える町を自治会等とも連携をしながら、住み心地が良い